

出題 螢雪ゼミナール

岐阜駅前校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の漢字の読み方を答えましょう。

- (1) 胡瓜
- (2) 胡桃
- (3) 胡散臭い

豆知識 雑学コラム

「胡」の漢字、由来は？

今回は「胡」という漢字についてみていきたいと思います。今回の問題に出てきた漢字は「きゅうり」、「くるみ」、「うさぐさ」と読みますね。同じ漢字が使われているため、これらの言葉には何らかの共通点がありそうですね。それでは、どんな共通点があるのか考えてみましょう。

まず、「胡」の「月」の部分は、胃や肺の「月」と同じで肉や身体を表している

ます。そして、「古」はこの漢字の読み方の「コ」を表していて、中国の言葉で「コ」と読まれる体の部分の「長いあご」や「あごひげ」を表す漢字としてできました。さらに、この「長いあご」や「あごひげ」の意味から派生して「長いあごひげを持つ異国人」、特に「遊牧民族」という意味で使われるようになりまし

た。世界史を学ぶと、4世紀に中国の北部で生まれた王朝の総称に「五胡十八国」

というものができますが、この「胡」とは「遊牧民族」のことだったんですね。そして、胡瓜も、胡桃もそもそも中国にはなく、「遊牧民族」によってもたらされました。「遊牧民族（胡）の瓜」で「胡瓜」、「遊牧民族（胡）の食べている桃みたいなもの」で「胡桃」ということな

んですね。それ以外にも、「遊牧民族（胡）」が持ってきた山椒みたいな香辛料で「胡椒」なども同じような由来になります。次に「胡散臭い」はどうでしょう。この言葉の由来も中国の遊牧民族にあります。昔の中国ではしばしば「遊牧民族」が街を襲い、暴れていました。この遊牧民族の反乱に怯えてうろたえる様子を「胡乱」と言います。そしてこの「胡乱」という言葉から「胡」には「うろたえて

いる、不審な様子」という意味が出てき

て、「不審な様子」を表す「胡散臭い」という言葉が生まれてきました。

さて、「胡」には「えびす」という訓読みがあります。「えびす様」は鯛を抱えている七福神の一人ですよ。えびす様は、現在は商売の神様として知られていますが、もともとは海の向こうから来た漁業の大漁を祈願する神様とされます。「あごひげを持つ異国の神様」なので「胡」という字が当てられたというわけです。

【解答】

(1) きゅうり

(2) くるみ

(3) うさぐさ